

令和6年第3回 北海道議会定例会・一般質問 開催状況

開催年月日 令和6年9月25日(水)

質問者 日本共産党 丸山はるみ 議員

答弁者 保健福祉部長兼感染症対策監 古岡 昇

質問要旨	答弁要旨
<p>六 障がい者の生活基盤確保等について (三) 施設待機者数の実態把握と今後の道の対応について</p> <p>道は、各市町村障害福祉計画の積み上げにより道の障害福祉計画を策定しています。市町村のみならず道においてもサービス見込み量を把握する責務がありますが、直接特別支援学校等から情報を入手して計画に盛り込まれていないのではないですか。</p> <p>我が会派は、待機者の実態把握を国に求めたところ、武見厚労大臣は7月23日の記者会見で、まずは各自治体での待機者の定義や把握状況などについて調査を進めていくことを検討すると表明しました。</p> <p>道として、国による実態調査の検討状況を含め、教育庁と連携し、より実態を反映した施設・グループホーム待機者数を把握し、道の計画に反映させていくべきではないでしょうか。お答えください。</p>	<p>(保健福祉部長兼感染症対策監)</p> <p>障害福祉サービスの必要見込量についてでございますが、道では、市町村における計画づくりを支援するための障害福祉計画等策定指針を定めており、施設やグループホームにおけるサービスの必要見込量の設定に当たりましては、障がいのある方はもとより、その家族等のニーズなどを十分確認の上、設定するという基本的考え方をお示しするとともに、そうした考え方で設定された各市町村のサービス必要見込量を積み上げ、道計画における指標として記載しているところでございます。</p> <p>また、道計画の策定に当たっては、道と市町村の連携を図るため、全道21の障がい保健福祉圏域ごとに「障がい福祉計画等圏域連絡協議会」を設置しておりますが、今後は教育庁とも連携を図り、そうした場に各教育局に参加いただくこととしており、サービス必要見込量のよりの確な把握に努めてまいります。</p> <p>なお、国におきましては、施設入所者等の待機状況に関する実態を把握する方向で検討を進めていると承知しており、道といたしましては、そうした国の動向も注視してまいります。</p>